

取扱説明書

保管用
(Y165A) A



丸型蛍光ランプ・シーリングライト用リモコン送信機 (FHC専用リモコン)

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ：配線器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

仕様

品番	適合器具
TG-299	<FHC専用リモコン対応機種> FHC76Wタイプ・FHC86Wタイプ・FHC114Wタイプ

この取扱説明書のマークについて

- 警告** 説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
- 注意** 説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
- このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
- このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

警告

- 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。★感電事故や漏電の原因となります。
- 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。★火災や感電事故の原因となります。

注意

- このリモコン送信機は、当社照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。
- リモコン送信機は壁スイッチがONのときのみ切り替えできます。
- リモコン送信機で消灯した場合、マイコンを使用しているためわずかな電流が流れて約1Wの電力を消費します。
★長時間お使いにならない時は必ず壁スイッチを切って節電に心がけてください。
- リモコン送信機の周辺にしゃへい物がある場合は、受信機が動作しない場合があります。
★しゃへい物を避けて、再度ボタンを押してください。
- 天井、壁、床の色や材質で操作距離が短くなることがあります。
- リモコン送信機の送信部、器具のリモコン受信部は汚れますと動作しにくくなりますので乾いた布でふいてください。
また、電池が消耗してくると動作しにくくなりますので、その際は新しい電池と交換してください。
- この照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器等を使用すると、リモコンが正常に作動しないことがあります。
- 点灯直後、全灯時や調光時、リモコンで切り替えにくい場合があります。その際はしばらくしてから切り替えてください。
- リモコン送信機で消灯した場合、停電が発生した際プルスイッチレス機能が働き全灯点灯などになることがあります。
- リモコン送信機は、落としたり、水をかけたり、踏みつけたりしないで下さい。
★リモコンの変形や故障の原因となります。

各部の名称

(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)

(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。)

調光スイッチ

スリム形FHCランプが調光点灯します。

常夜灯スイッチ

常夜灯が点灯します。

30分スイッチ

照明器具が30分後に消灯します。

チャンネル切替スイッチ

スイッチの切り替えで、2台のリモコン器具が操作できます。

全光スイッチ

スリム形FHCランプが100%で点灯します。

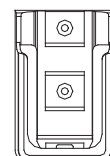
消灯スイッチ

どの状態からでもワンタッチで消灯できます。

60分スイッチ

照明器具が60分後に消灯します。

■付属品



リモコンホルダー



単4乾電池 (2本)



取付用木ネジ (2本)

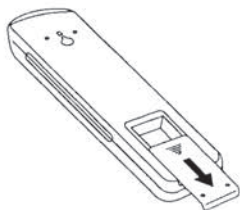


取付説明書(本紙)1枚

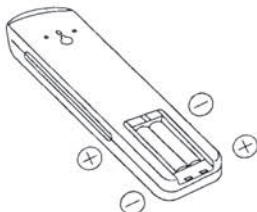
保証とアフターサービス(別紙)1枚

リモコン送信器への乾電池の入れ方

- ①裏面の電池ふたを軽く押さえないで手前に引いてください。



- ②単4乾電池を表示にあわせて極性+をまちがえないように入れて、電池ふたを閉めてください。

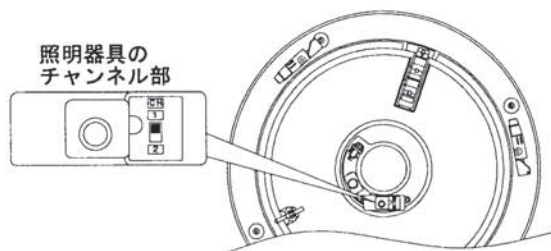


ご注意

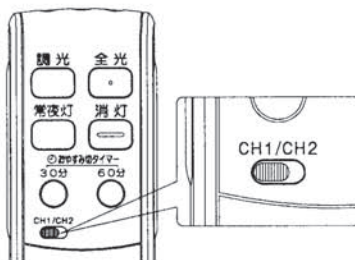
- 乾電池交換の際は必ず同時に2本とも交換してください。動作不良の原因となります。
- 長期にわたり、リモコン送信器を使用しない場合は、電池をはずしておいてください。液もれなどでリモコン送信器をいためる原因となります。
- リモコン送信器の平均電池寿命は1日10回の場合、約1年間が目安です。1年を経過しなくても操作距離が短くなった場合は電池交換してください。

照明器具とリモコン送信器のチャンネルの合わせ方

- ①照明器具のセードを外します。チャンネルを確認します。お好みのチャンネルに設定してください。



- ②リモコン送信器のチャンネルを照明器具と合わせます。



※照明器具のチャンネルとリモコン送信器のチャンネルを同じチャンネルに合わせてください。チャンネルが合っていないと操作できません。

※2台の照明器具の操作が1つのリモコン送信器で行えます。それぞれの照明器具のチャンネルをCH1・CH2と個別に設定した場合、リモコン送信器のチャンネルと同じチャンネルの照明器具のみ動作します。

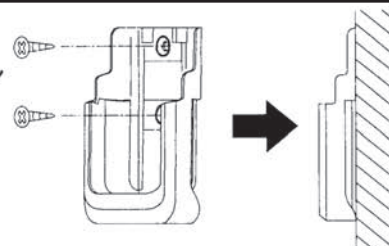
リモコンホルダーの取り付け方

- リモコン送信器の紛失を防止するためリモコンホルダーが同梱されています。壁面に取り付けてご使用ください。

ご注意

- リモコンを操作する際は、リモコンホルダーからリモコン送信器をはずして照明器具に向けてご使用ください。

付属の木ねじでリモコンホルダーを確実に固定してください。



おやすみ切タイマーのご使用方法

●おやすみ切タイマー30分

- ・照明器具にむけてボタンを押すとピピッと2回鳴り、約30分後に照明器具が消灯します。

●おやすみ切タイマー60分

- ・照明器具に向けてボタンを押すとピピピッと3回鳴り、約60分後に照明器具が消灯します。

※おやすみ切タイマー中におやすみ切タイマー（30分、60分）以外のボタンを押すとタイマーが解除されます。

※おやすみ切タイマー中に再度おやすみ切タイマーボタンを押すと、タイマーカウントがリセットされ再度タイマーがセットされます。

※タイマーセット後は、照明器具のタイマーで動作しますのでリモコン送信器を照明器具へ向けておく必要はありません。

リモコンご使用上のご注意

- このリモコン送信器は、当社指定の照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。

- リモコンは、壁スイッチがONのときのみ切り替えできます。

- 照明器具をリモコン送信器で消灯した場合、マイコンを使用しているためわずかな電流が流れて約1ワットの電力を消費します。長時間お使いにならないときは必ず壁スイッチを切って節電を心がけてください。

- リモコン送信器は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因となります。（図1）

- リモコン送信器の周囲に（図2）のようなしゃへい物がある場合は、照明器具が動作しない場合がありますのでその際はしゃへい物を避けて、再度ボタンを押してください。

- 天井、壁、床の色や材質で操作距離が短くなる場合があります。

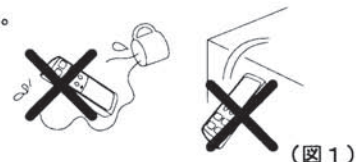
- リモコン送信器の送信部、器具のリモコンの受光部は汚れますと動作しにくくなりますので乾いた布で拭いてください。また、電池が消耗してくると動作しにくくなりますので、その際は新しい電池と交換してください。

- この照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器などを使用すると、リモコンが正常に動作しない場合があります。

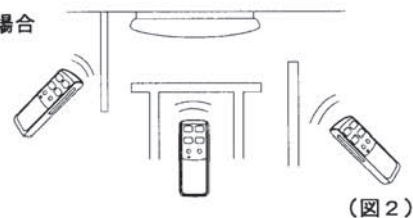
- 点灯直後の全光点灯時や調光点灯時は、リモコンで切り替えにくい場合があります。その際はしばらくしてから切り替えてください。

- リモコン送信器で消灯した場合、停電が発生した際プルスイッチレス機能が働き全光点灯などになることがあります。

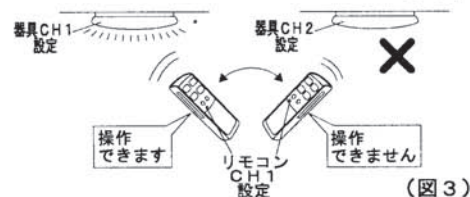
- 1つのリモコン送信器はチャンネルに合わせた信号しか送信できません。2台の照明器具を1つのリモコン送信器で操作する場合は、照明器具のチャンネルとリモコンのチャンネルを合わせて操作してください。（図3）



（図1）



（図2）



（図3）

故障かな？と思ったら

現象	考えられる原因	処置
リモコン送信器で照明器具が操作できない。	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。
	照明器具とリモコン送信器のチャンネルが合っていない。	チャンネルを合わせてください。
	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。
	ランプが切れている。	ランプを交換してください。
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。
	リモコン内のマイコンが暴走している。	電池をいったんはずし、再度取り付けてください。

● お手入れについて



注意 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

- こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。
- ランプ交換について：器具にあったワット数のランプをお求めください。

⚠ 注意



- お手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。



- 濡れた手で触らないでください。
★感電事故の原因となります。



- シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。